

身近な素材で楽しむ室内遊びの工夫 ～ 新聞紙 1 枚から広がる世界 ～

幼稚園教諭 高橋 彩

本格的な冬の到来。戸外で思う存分に遊べない環境は、遊びが生活の主体である子どもたちにとって、ストレスの溜まる要因になってしまうこともあります。そこで今回は、身の回りにあるものを使って、室内でも楽しく過ごせる遊びをご紹介します。と思います。

【用意するもの】

- ・新聞紙
- ・ビニール袋（2枚）

新聞紙は散らばるので、散らばっても大丈夫なスペースで行いましょう。

○新聞紙で変身！

新聞紙に穴を開けると、お面やお洋服に変身。

大きな折り紙のような新聞紙に、子どもはワクワク！

○ビリビリ新聞紙！

新聞紙を裂いてみよう。ビリビリ裂く行為に、子どもは興味津々！

細長く裂いて、パスタができたよ！くるくる丸めたらお団子みたい！

面白い形にちぎって、見立て遊びも広がります。

○ちぎってパラパラ！

裂いた新聞紙を、更に細かくちぎってみよう。

頭の上からパラパラと、まるで雪のよう！？

○集めて！集めて！新聞紙のボール

細かくちぎった新聞紙を、ビニール袋（破れないように二重にする）に集めてお片づけ競争！

ビニール袋いっぱいになったら袋の口を縛り、ふわふわボールの完成。



子どもにとって、自由自在に形が変わっていく素材は、心躍るもの。ぐちゃぐちゃに丸めたり、ビリビリ裂いてみたり、思うままに、手先や身体を動かし、ダイナミックに遊んでみてはいかがでしょうか。

子どもが楽しめる遊びは、身近な暮らしの中にもまだまだたくさん探すことができそうです。シーツを使って風を作ったり、かくれんぼの素材にしたり、タオルを丸めてボールにしたりなど……。そして何より、五感を豊かに使って、大人も一緒に楽しむこと。

最後に！！ビリビリ破いた新聞紙も、そのまま捨ててしまうのではなく、濡らしてから床に撒いてほうきで掃けば、ホコリを立てずに掃除ができます。また調理後の油を吸わせてから捨てれば、油の処理にも大活躍。暮らしの中で大いに遊びを楽しんでみてください。